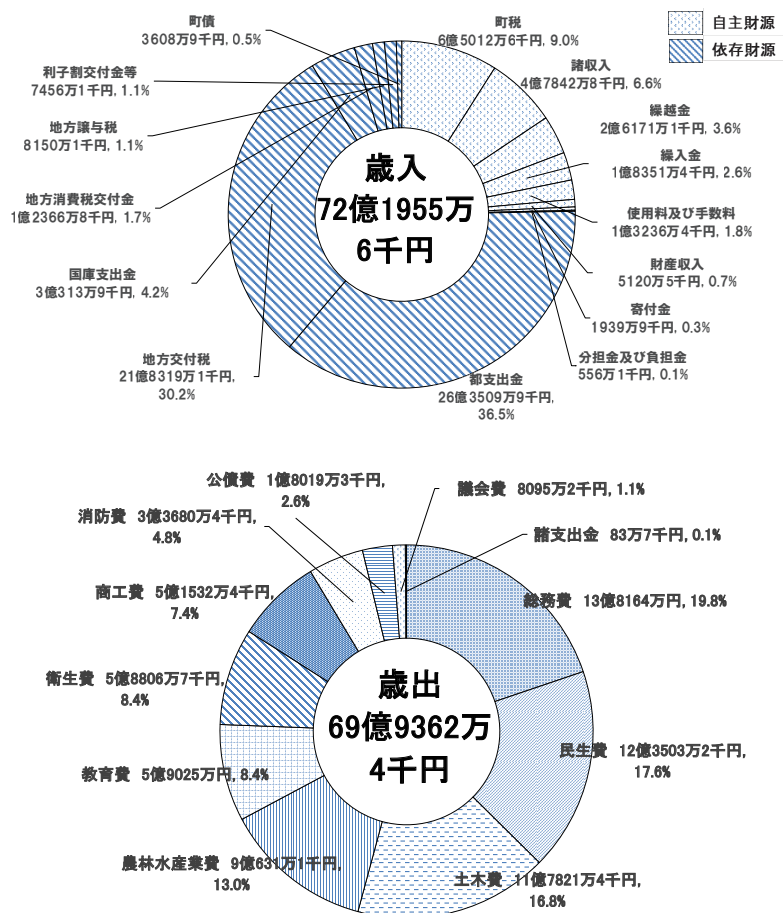


令和 6 年度決算が認定されました

令和 6 年度決算が 9 月開催の町議会定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。

〔一般会計〕令和 6 年度の一般会計決算額は、歳入が 72 億 1955 万 6 千円、歳出が 69 億 9362 万 4 千円で、収支差引額は 2 億 2593 万 2 千円、翌年度繰越財源はないため、実質収支額は収支差引額と同額となりました。前年度に比べて、歳入額は 1.7% の減、歳出額は 1.2% の減となりました。

【令和 6 年度一般会計決算額および構成比】



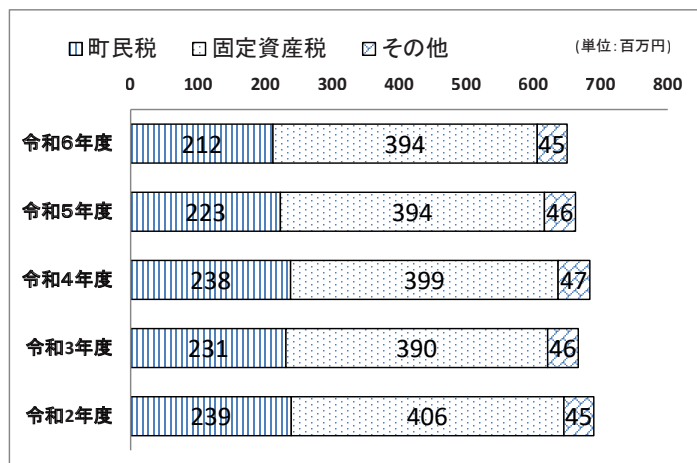
【歳入】

新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策への交付金の減などにより国庫支出金が大きく減となりましたが、依存財源合計は 54 億 3 千 7 百万円、歳入全体の 75% に達しました。対して、自主財源で最も大きい町税は、前年度から 1 千 2 百万円の減となりました。例年、町の歳入に占める自主財源の割合は、全国と同規模町村と比べても低い値となっています。

【歳出】

庁舎建設基本・実施設計業務委託や川井松葉地内分譲地造成工事、水根線災害防除工事の増などがありましたが、庁舎建設整備事業における物件等補償費や住民税非課税世帯臨時特別給付金、南平熊沢線道路新設工事の減などにより、歳出総額は、前年度と比較して 8 千 6 百万円の減となりました。

【町税収入の推移】



町民一人当たりの町税収入額及び歳出額

